

第2次吉賀町まちづくり計画（住民アンケート結果）に対するまちづくり委員会の前期評価及び意見

○住民ニーズ（アンケート調査による評価）

評価基準	補足説明、今後の扱い
重点改善分野	住民が重要と感じているが、満足度が低い。
改善分野	住民はあまり重要と感じておらず、満足度は低い。
重点維持分野	住民が重要と感じていて、満足度が高い。
維持分野	住民はあまり重要と感じていないが、満足度は高い。

○評価委員会評価（住民ニーズを鑑みて評価）

区分	評価基準	補足説明、今後の扱い
I	最優先政策	今後、最も重点的に取り組むべき政策。
II	優先政策	今後、重点的に取り組むべき政策。
III	重点的に維持する政策	これまで通り重点的に取り組むべき政策。
IV	維持する政策	これまでに維持して取り組むべき政策。

まちづくりの 5つの方向	政策体系 番号	政策名	住民ニーズ					委員会 評価	委員会特記事項
			項目	重点 改善 分野	改善 分野	重点 維持 分野	維持 分野		
快適で安全に くらせるまち づくり	1-1	自然環境の保 全と活用	自然環境保全		○			II	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全の状況については一定程度評価できる。 景観の美しさについて、再認識が必要ではないか。
			水辺環境		○				
			街の景観		○				
			公園や広場		○				
	1-2	環境に配慮し た社会の形成	省エネ・再生エネ				○	IV	<ul style="list-style-type: none"> 住民意識は徹底してきていると思われるが、啓発活動を続けていくことは必要。
			ゴミ対策・リサイクル			○			
	1-3	社会環境の整 備	消防・救急			○		I	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップをみると、レッド・イエローゾーンに住居が多く存在することから、防災基盤整備は急を要する。 その他の社会環境整備項目については、ある程度整っておりその点は評価できる。 命にかかわる分野は最優先で取り組む必要がある。
			防災基盤整備	○					
			防災組織・活動			○			
			防犯			○			
			交通安全意識			○			
			町内道路網			○			
			広域道路網				○		
			歩道	○					
			鉄道利用		○				
			バス利用		○				
			上水道・簡易水道			○			
下水道					○				
住宅地整備				○					
住宅確保				○					
ゴミ対策・リサイクル（再掲）			○						
情報通信回線網			○						
買い物利便性	○								

まちづくりの 5つの方向	政策体系 番号	政策名	住民ニーズ					委員会 評価	委員会特記事項
			項目	重点 改善 分野	改善 分野	重点 維持 分野	維持 分野		
健康で安心して暮らせるまちづくり	2-1	保健の充実	子育て環境			○		Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> この分野については、手厚く行われており、一定程度評価できる。
			健康意識・情報提供			○			
			健康診断・相談			○			
	2-2	医療の充実	医療体制・サービス	○				I	<ul style="list-style-type: none"> 生活になくてはならないものである。 町民負担とのバランスについても考慮が必要。
	2-3	福祉の充実	子育て環境（再掲）			○		Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 行政に関することについて満足度は高い。 生きがいづくりについて、改善が必要。
			高齢者対策			○			
			障がい者（児）対策			○			
			地域福祉活動			○			
			生涯現役環境	○					
	2-4	社会保障の充実	社会保障	○				I	<ul style="list-style-type: none"> 年金・介護・医療等国の制度の改善を後押しするような政策や制度のアナウンスが必要。

まちづくりの 5つの方向	政策体系 番号	政策名	住民ニーズ					委員会 評価	委員会特記事項
			項目	重点 改善 分野	改善 分野	重点 維持 分野	維持 分野		
魅力と活力に 満ちて暮らせ るまちづくり	3-1	農林水産業の 振興	農林業振興		○			I	<ul style="list-style-type: none"> 農地・林地の活用・保全是生活環境などへの影響も含めて、極めて重要。 基幹作物の推進体制の整備については早急に対応する必要がある。
			地産地消	○					
	3-2	商工業の振興	中心商店街の魅力		○			I	<ul style="list-style-type: none"> 既存の町内企業が継続していける支援をより拡充することにより、事業承継体制を確保し、結果的に商工業のにぎわいにつながることから、一連での取り組みが必要である。
			商業活動		○				
			にぎわい		○				
			雇用	○					
			企業誘致		○				
	企業支援・創業支援		○						
	3-3	交流・定住の推 進	観光施設・観光アクセス		○			III	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流等による来町者への情報発信が必要と思われる。
			観光客誘致		○				
	3-4	人づくりの推 進	NPO活動		○			III	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な地域行事への参加は積極的であるが、大きな地域活動へは結びついていないことが課題として考えられる。
			住民主体の地域活動				○		

まちづくりの 5つの方向	政策体系 番号	政策名	住民ニーズ					委員会 評価	委員会特記事項
			項目	重点 改善 分野	改善 分野	重点 維持 分野	維持 分野		
人と歴史を大切にして暮らせるまちづくり	4-1	学校教育の充実	学校教育			○		Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であってもサクラマスプロジェクトの取組が断絶しないようにしていくべき。
			学校施設			○			
	4-2	社会教育の充実	公民館・図書館施設				○	Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 公民館主事が2人体制になり、大人のサクラマスプロジェクトも始まる。この機会に公民館を地域のハブとして活用促進していくべきである。 スポーツ施設は、単独では、採算が取れないかもしれないが、町全体への波及効果を考えると充実させるべきだ。 小学校での交流を通して、異文化交流、外国人への理解が進んでいる。この流れを継続していくべきである。
			公民館・社会教育への参加				○		
			スポーツ環境				○		
			生涯学習				○		
			公共施設の利用				○		
			人権意識			○			
	人権擁護			○					
	4-3	文化財の保護と活用	文化財保護・活用				○	Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 吉賀町出身の森さん、澄川さんの功績は色あせない。ファンもたくさんいるが、町内にある両氏の作品をうまく活用できていない。主に町外向けにこうした資源を発信し、交流人口を増やしていくべきである。
歴史・文化・芸術の環境				○					

まちづくりの 5つの方向	政策体系 番号	政策名	住民ニーズ					委員会 評価	委員会特記事項
			項目	重点 改善 分野	改善 分野	重点 維持 分野	維持 分野		
協働と交流で いきいきと暮 らせるまちづ くり	5-1	住民自治を基 盤としたまち づくり	住民主体の地域活動（再掲）				○	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動は、地域の子供と大人が関わる貴重な機会だが、コロナ禍で省略化、簡略化が進む一方で、アンケートでは、コロナ禍であっても中高生の地域活動に関する満足度が高かった。コロナ禍が落ち着いた後は、さらにこの分野の活動を充実させていくべきである。 蔵木地域では、公民館の運営に地域の子供が積極的に入っている。
			町内会・自治会活動				○		
	5-2	住民と共に築 く参画と協働 のまちづくり	協働によるまちづくり		○			Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> 小さな拠点づくりは、行政が音頭を取って進めていくべきである。 どんな活動もまずは周知から始めることが必要。この部分に注力するべきである。
			住民参加の仕組み		○				
			NPO活動（再掲）		○				
	5-3	男女が共に担 う地域づくり	男女共同参画				○	Ⅳ	<ul style="list-style-type: none"> 公民館に来る人も女性の割合が多い。 吉賀町に住んでいてこの部分で不便を感じることは少ないので、取組の優先度は高くない。

まちづくりの 5つの方向	政策体系 番号	政策名	住民ニーズ				委員会 評価	委員会特記事項
			項目	重点 改善 分野	改善 分野	重点 維持 分野		
行財政対策	6-1	行財政改革の 推進	行政サービス	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回調査よりは満足度は改善されているが、以前として満足度は低い。どこに不満を感じているのか分析が必要ではないか。 ・ 課によって対応が違っている。 ・ 上をみればきりがないので、役場でできる範囲とできない範囲を明確に切り分けるべき。